🕮 図書館だより Y ぶらりー 🕮 横浜商業高等学校 2024年度 第3号

朝晩に秋の風を感じる頃となりました。栗やかぼちゃ、サツマイモのお菓子がたくさん並んでいて、選ぶのに困ってしまうほどです。 自分で作れたら、と『満月珈琲店のレシピ帖 12 星座とめぐる星カフェメニュー』桜田千尋(596 サ）を手に取りました。 こちらは小説の『満月珈琲店の星詠み』望月麻衣著（B913.6）シリーズに描かれる美味しそうなメニューの作り方が載っており、ながめているだけでも幸せな気持ちが満ちてきます。今度のお休みに、秋の雰囲気満載の「紅葉のパンプキンタルト」に挑戦してみます。　　司　書

🕮　陸上の本　🕮

陸上部の生徒にすすめたことをきっかけに陸上に関する本を探したら面白そうな本ばかりだったので、図書館のコーナーに集めました。一部を紹介します。

○『ランニング・サイエンス　「走る」を科学する』ジョン・ブルワーほか著（782 ブ大型本）

あらゆるデータを用いて「走る」ことを科学的に分析し、カラフルなイラストを用いてわかりやすく伝えています。「ストライドとピッチの最適な関係は？」や「空気抵抗が走行速度に与える影響は？」、「傾斜の走行時に最適なテクニックは？」などの疑問に対し明快に解説されているので、目標をもって走っている人に新しい知識をもたらしてくれそうです。

○『記録が伸びる！陸上競技 跳躍～走り幅跳び・三段跳び・走り高跳び・棒高跳び～』森長正樹監修（782 モ）

高く跳ぶため、遠くまで跳ぶための技術が本で学べます。より高く、より遠くまで跳ぶために、分解写真を駆使してわかりやすく説明されているのを見ると、記録を伸ばす助けになりそうな気がします。

○『２時間で足が速くなる！日本記録を量産する新走法　ポン・ピュン・ランの秘密』川本和久（782 カ）

自分が小学生のときにこの本に出合っていたかった！日本記録を量産する陸上競技監督による、気持ちよく走るためのテクニックが満載の本です。

ほかに走りを極めるために、○『「走る」ための食べ方』村野あずさ（782 ム）　○『ランニング解剖学』ジョー・プレオ（782 プ）　○『マラソンの教科書 完走チャレンジ！自己ベスト更新！』川越学（782 マ）
○『四継 2016 リオ五輪、彼らの真実』宝田将志（782 タ）など、まだまだたくさんの本があります。

以下は陸上がテーマとなっている小説です。

○『タスキメシ』額賀澪（913.6 ヌ）

怪我で陸上から離れることになった高校生の主人公が、料理研究部にかかわることになってから前向きに変わってゆく物語です。食生活はだらしないのに怪我とは無縁の弟の陸上の才能への嫉妬や、陸上部の仲間、ライバル校の選手とのさまざまな葛藤などが描かれて、部活で苦しんだことのあるすべての人が共感できると思いました。ときどき出てくるお料理があまりにも美味しそうなので、そちらも楽しんでください。続編の、主人公たちがさらに成長した姿を見せてくれる○『タスキメシ箱根』（913.6 ヌ）や、戦時下と令和の今の駅伝を描いた○『タスキ彼方』（913.6 ヌ）もどうぞ。

○『君が夏を走らせる』瀬尾まいこ（913.6 セ文庫）

高校生のやんちゃな主人公が、先輩に頼まれて赤ちゃんのめんどうをみるお話です。この主人公が中学生時代に陸上部で頑張った姿が描かれた○『あと少し、もう少し』（913.6 セ文庫）という小説のスピンオフ的な作

品ですが、こちらを読んでいなくても十分に楽しめます。本格的な陸上のシーンはほとんどありませんが、走ることが好きな気持ちがあたたかく伝わってくる、やさしい作品です。

○『八月の御所グラウンド』万城目学（913.6 マ）

直木賞受賞作の短編集に収められた「十二月の都大路上下ル（カケル）」は、京都で行われた駅伝を走る女子高校生の、少し不思議なお話です。方向音痴の主人公がコースを間違えそうになったときに見たちょんまげの軍団はなんだったのか、京都ならではの幻との出会いをからめつつも、じんわり心に染み入る作品です。

このほかに ○『一瞬の風になれ 上・中・下』佐藤多佳子（913.6 サ文庫と書庫）や、○『風が強く吹いている』三浦しをん（913.6 ミ文庫と書庫）、○『陸王』○『俺たちの箱根駅伝 上・下』池井戸潤（913.6 イ）、○『ラン』森絵都（913.6 モ文庫）、○『疾風の女子マネ』まはら三桃（913.6 マ）、○『ランナー』あさのあつこ（913.6 ア書庫）、○『蹴りたい背中』綿矢りさ（913.6 ワ書庫）、○『800 TWO LAP RUNNERS』川嶋誠（913.6 カ書庫）などなど、胸アツの作品が陸上モノには溢れています。



🕮　今月のおすすめ本　🕮

○　『地球の歩き方　横浜市』（290 チ）

地球の歩き方シリーズに、とうとう「横浜市」が登場しました。観光で横浜を訪れる方にはもちろん、私たち横浜市民が見ても新しい発見がたくさん詰まった見応えたっぷりの本です。南区の案内文に書かれた Y 校の前身の横浜商法学校が設立されたのは本当は中区だけどなぁ、とツッコミをいれたくなる部分もありますが、横浜の歴史・文化から美味しいものまで網羅された一冊は、課題研究や公務員の試験勉強にも役に立ちそうです。

○ 金子 智朗『教養としての「会計」入門』（336 カ）

今回はもう一冊、商業科の S 先生から、面白いですよと紹介されて読んでみたらとても良かった本をみなさんにもおすすめします。「会計の存在理由、原理原則、個別論点」「決算書の構造、財務指標を使う経営分析」「財務会計と管理会計の違い、税金と会計の関係」などを事例やコラムを豊富に盛り込みながら、やさしく解説している本です。「会計」は何のために存在するのか、という問いに一瞬考え込んでしまいましたが、ただ単純に「儲かったかどうか」だと聞くと納得できて、ちゃんと教養として知っておかなければ、という気持ちになれます。簿記を学ぶ Y 校生の強みって、それをしっかり身につけているということなんだ、と考えさせられました。そんな Y 校生のみなさんも改めて言語化されたこの本を見たら、普段学んでいることの意義が深められるかもしれません。

～図書委員会からのお知らせ～

Y 校祭期間中は図書館前に「川柳屋」が開かれます。

図書館前に貼りだされた大きな木の枝を川柳でいっぱいにしてください。

川柳とは、五・七・五の十七文字で作られた、季語のいらない俳句です。

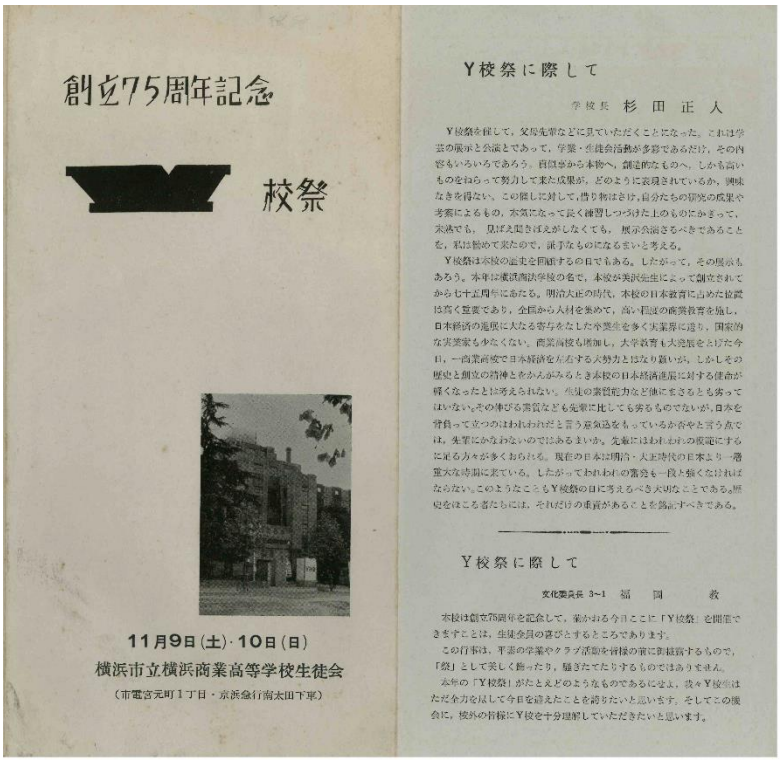
自分で川柳を作るのは難しいな、と思った人も、お気に入りの川柳を

見つけたらシールをペタッと貼って投票してくださいね！

Y校アーカイブ　vol. 26　「創立75周年記念文化祭パンフレット」

昭和32年(1957年)のY校祭パンフレットです。四つ折りになった紙の中面に、講演などのプログラムが書かれています。講堂では、「貧乏はなくせるか否か」をテーマに討論大会が行われ、能楽部による「仕舞」や、国大グリークラブを招いての合唱なども行われていました。演劇研究部や映画研究部、放送部、産業調査部、新聞部、地理研究部、華道部、弁論部、珠算部、図書部など、現在は存在しない部活動の名前も多く見られます。フェンシング部による招待試合も披露されています。

会場案内図からは、当時の校舎の様子が見て取れます。1階が食堂となっていた講堂は、校舎に抱かれるように建っていたことがわかります。


創立75周年記念

校祭

11月9日(土)・10日(日)

横浜市立横浜商業高等学校生徒会

(市電宮元町1丁目・京浜急行南太田下車)

Y校祭に際して

学校長　杉田正人

Y校祭を催して、父母先輩などに見ていただくことになった。これは学芸の展示と公演とであって、学業・生徒会活動が多岐であるだけ、その内容もいろいろであろう。自信をもった本物へ、創造的なものへ、しかも高いものをねらって努力して来た成果が、どのように表現されているか、興味なきを得ない。この催しに対して、持ち物はさまざまに自分たちの研究の成果や考案によるもの、本気になって長く練習しつづけた上のものにかぎって、実満でも、見ばえ聞きばえがしなくても、展示公演さるべきであることを、私は信じて来たので、誠実なものになるでしょうと考える。

Y校祭は本校の伝統を育成するのも目ざしている。したがって、その催しものもあろう。本年は横浜商法学校の名で、本校が実業学校として創立されてから七十五周年にあたる。明治大正の時代、本校の日本経済に占めた位置は大変重要であり、全国から人材を集めて、高い程度の商業教育を施し、日本経済の進展に大なる寄与をなした卒業生を多く実業界に送り、国家的な実業家も少なくない。商業高校も増加し、大学教育も大衆化をとげた今日、一商業高校で日本経済を左右する大勢力とはなり難いが、しかしその歴史と創立の精神とをかんがみるとき本校の日本経済進展に対する使命が軽くなったとは考えられない。先進の実質能力など他にまさるとも劣ってはいない。その伸びる実質などを先輩に比して劣るものでないが、日本を背負って立つのはわれわれだと言う意気込みをもっているか否やと言う点では、先輩にかなわないのではあるまいか。先輩にはわれわれの模範にするに足る力々が多くおられる。現在の日本は明治・大正時代の日本より一層重大な時期に来ている。したがってわれわれの責任も一段と強くなければならない。このようなことも Y校祭の日に考えるべき大切なことである。歴史をほこる者たちには、それだけの重責があることを銘記すべきである。

Y校祭に際して

文化委員長 3~1　福岡　教

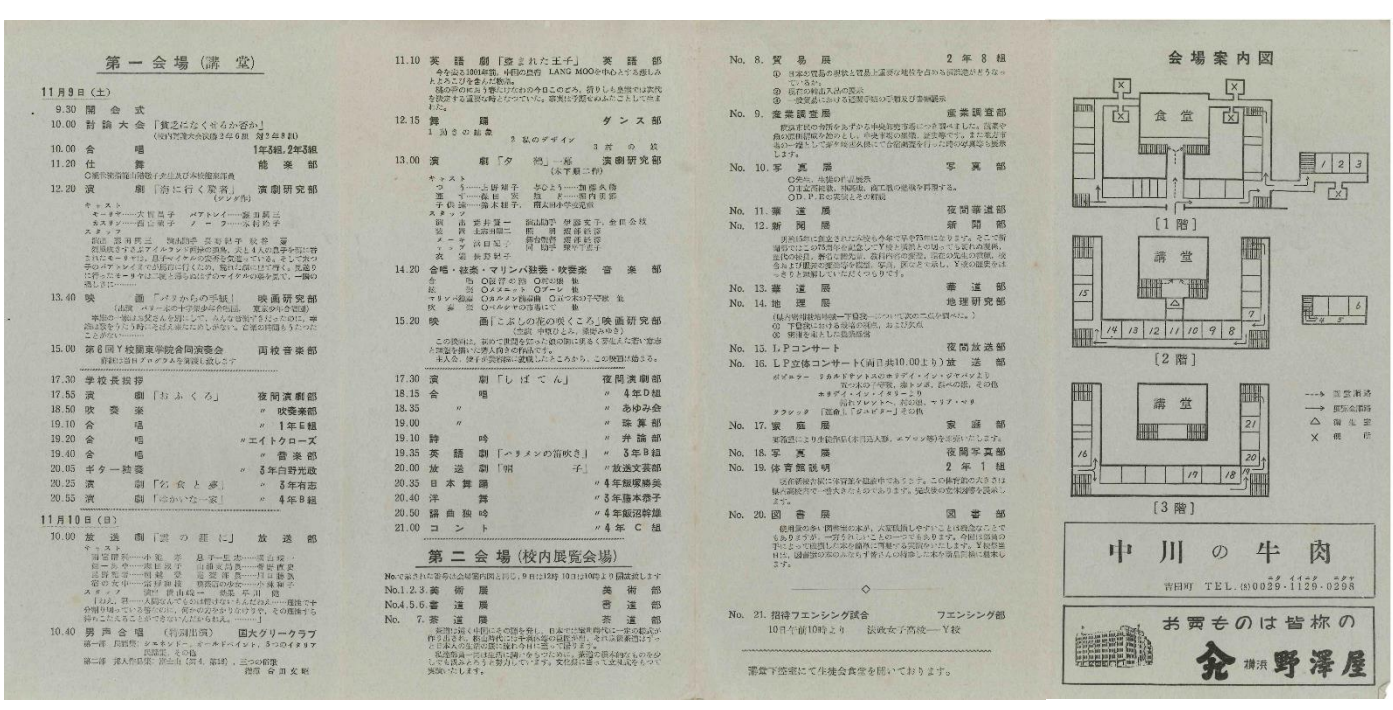
本校は創立75周年を記念して、盛かおる今日ここに「Y校祭」を開催できますことは、生徒全員の喜びとするところであります。

この行事は、平素の学業やクラブ活動を母体の下に凝縮するもので、「祭」として実に楽しく思われ、魅きたてられるものではありません。

本年の「Y校祭」がたとえどのようなものであるにせよ、我々Y校生はただ全力を尽して今日を迎えたことを誇りたいと思います。そしてこの機会に、校外の皆様にY校を十分理解していただきたいと思います。



校長先生のお言葉に「Y校祭は本校の歴史を回顧するの日でもある」とありました。


第一会場（講堂）

11月9日(土)

9.30 開会式
10.00 討論大会「貧乏になくせるか否か」
10.00 合唱 1年3組, 2年3組
11.20 仕舞 能楽部
12.20 演劇「海に行く約束」 演劇研究部
13.40 映画「ガラかわの手紙」 映画研究部
15.00 第6回Y校園東学院合同演奏会 両校音楽部
17.30 学校長挨拶
17.55 演劇「おふくろ」 夜間演劇部
18.50 吹奏楽 〃 吹奏楽部
19.10 合唱 〃 1年E組
19.20 合唱 〃 エイトクローズ
19.40 合唱 〃 管楽部
20.05 ギター独奏 〃 3年白野光政
20.25 演劇「名もなき夢」 〃 3年有志
20.55 演劇「ふかいた一家」 〃 4年B組

11月10日(日)

10.00 放送劇「雲の果て」 放送部
10.40 男声合唱（特別出演） 国大グリークラブ
11.10 英語劇「盗まれた王子」 英語部
12.15 舞踊 ダンス部
13.00 演劇「夕焼」 演劇研究部
14.20 合唱・独奏・マリンバ独奏・吹奏楽 音楽部
15.20 映画「こぶしの花の咲くころ」 映画研究部
17.30 演劇「しばてん」 夜間演劇部
18.15 合唱 〃 4年D組
18.35 〃 〃 あゆみ会
19.00 〃 〃 珠算部
19.10 詩吟 〃 弁論部
19.35 英語劇「ハメルンの笛吹き」 〃 3年B組
20.00 放送劇「闇の子」 〃 放送文芸部
20.35 日本舞踊 〃 4年服部勝美
20.40 洋舞 〃 3年藤本啓子
20.50 猫曲独吟 〃 4年飯沼幹雄
21.00 コント 〃 4年C組

第二会場（校内展覧会場）

No.1. 2. 3. 美術展 美術部
No.4. 5. 6. 書道展 書道部
No. 7. 茶道展 茶道部
No. 8. 貿易展 2年8組
No. 9. 産業調査展 産業調査部
No. 10. 写真展 写真部
No. 11. 華道展 夜間華道部
No. 12. 新聞展 新聞部
No. 13. 華道展 華道部
No. 14. 地理展 地理研究部
No. 15. LPコンサート 夜間放送部
No. 16. LP立体コンサート(雨日共10.00より) 放送部
No. 17. 家庭展 家庭部
No. 18. 写真展 夜間写真部
No. 19. 体育館説明 2年1組
No. 20. 図書展 図書部
No. 21. 招待フェンシング試合 フェンシング部
10月午前10時より 県政女子高校―Y校

需要下記表にて生徒会食堂を開いております。

会場案内図